

## ドイツの探検クルーズ客船「ハンゼアティック・インスピレーション」が来阪

2025.6.23 池田良穂

6月23日早朝、ドイツの探検クルーズ客船「ハンゼアティック・インスピレーション」が大阪港に入港しました。ハパクロイド・クルーズの探検クルーズ客船隊の1隻で、姉妹船も含めてこれまでも何度か来日していますが、撮影の機会がなかったので、今回の来日の機会にはぜひ撮影したいと思っていました。大阪港の入港予定は朝6時と、他船に比べるとだいぶ早く、大阪港の関門通過の姿を狙うとすると、5時前からスタンバイが必要。しかも、前日の天気予報では雨予報でしたので、だいぶ迷いましたが、朝4時に起きて空を見ると、曇り空ですが少し青空も覗いていました。AISでチェックすると、同船は神戸空港沖を5ノットで航行していました。急いで車を走らせて、大阪南港まで出かけました。

さて、同船は、ドイツのハパクロイド・クルーズが、2019年から新造を始めた3隻の探検クルーズ客船の第2船で、総トン数は15,651トン、全長138.76m、型幅22m。旅客定員は230名で、乗組員数は170人と旅客定員の割に多く、乗客定員1人当たりの総トン数も67.57トンというラグジュアリ仕様船です。このシリーズの一番船は「ネイチャー」で2019年、2番船の「インスピレーション」も2019年、そして3番船「スピリット」が2021年に竣工しています。建造所はノルウェーのバード造船所です。

ハパクロイド社は、大西洋横断定期客船運航の老舗会社であるハンブルグ・アメリカ・ラインと北ドイツ・ロイドが1970年に合併した会社で、合併後はコンテナ船の運航を主に行うかわら、クルーズ事業も継続していました。1981年にはクルーズ客船「オイローパ」を代替建造して、以来、ドイツでのラグジュアリ・クルーズマーケットを長年牽引してきました。しかしドイツでのラグジュアリ・マーケットは大きくは広がらずにいたので、そうした状況の中で、ドイツで探検クルーズを扱う旅行社ハンゼアティック・クルーズを買収して、探検クルーズに活路を見出そうとしたようです。

1991年に竣工したものの引き取りがされていなかった8000総トンの「ソサエティ・アドベンチャー」をハンゼアティック・クルーズが買い取り、「ハンゼアティック」と改名して、探検クルーズに投入。さらに日本郵船から探検クルーズ客船「フロンティア・スピリット」を入手して「ブレーメン」と改名して、ハンゼアティック・ブランドで2隻でのクルーズ運航を行いました。その後ハパクロイド社がハンゼアティック・クルーズを買収して一体化しています。

一方、ハパクロイド本体のフラッグシップであった「オイローパ」(37,012総トン)は、1999年には、

28,890 総トンと、かなり小型化された「オイローパ」(旅客定員 408 人)に代替。さらに 1997 年には 15,067 総トンの「C コロンブス」(旅客定員 420 名)を建造して、小型のラグジュアリ・クルーズ客船へとシフトしましたが、2013 年には 42,830 総トンの「オイローパ 2」を建造しました。同船は 4 万総トンですが、旅客定員は最大 550 名で、乗組員は 370 名。いろいろ試行錯誤を続けているようですが、ウルトラ・ラグジュアリ船の運航へとシフトしているのは、邦船社の戦略にも似ています。日本船が日本語の単言語船なのと同様に、ハパクロイドのクルーズはドイツ語の単言語船というのも似ています。もちろん乗組員は英語を話しますし、英語のメニュー等も用意されているようです。

現在は、ハンゼアティック・ブランドは探検クルーズ、オイローパ・ブランドはウルトララグジュアリ・クルーズと考えてよさそうです。パンフレットを見ると「オイローパ 2」の日本クルーズは 1 泊あたり 13 万円から、「ハンゼアティック・インスピレーション」は 1 泊あたり 10 万円ほどからです。

注: 船名の「Hanseatic」のカタカナ表記としては、「ハンセアテック」との表記も多いのですが、ドイツ語風に「ハンゼアティック」と記載しています。ドイツで留学していたせいもあり、ドイツ語読みのほうが馴染んでいるためです。もちろん「Europa」は「オイローパ」が好みです。ただ「Inspiration」の方は英語読みにしたので、ちょっとちぐはぐ感はありますが。ドイツ語と綴りは同じですが、発音は「インスピラチオーン」となりそうです。



5 時半ころに「ハンゼアティック・インスピレーション」は大阪港関門に姿を現しました。前日は宇野に寄港、その前に広島から宇野までの瀬戸内海の昼航海をしたようです。



背景に大阪・関西万博の大屋根リングが見えています。



夢洲のコンテナターミナルの前で、ほぼ真横の姿となりました。船尾は斜めになっています。



最上部甲板にゾディアックが積載されているのにご注目ください。





天保山岸壁に進む「ハンゼアティック・インスピレーション」です。



ファンネルマークはパパクロイドのもの。船側に「探検クルーズ」Expedition Cruises の文字が書かれています。